

# 2012 年度 日本語教育学会春季大会

主催：社団法人日本語教育学会／共催：拓殖大学

開催日：2012 年 5 月 26 日(土), 27 日(日)／会場：拓殖大学文京キャンパス

予稿集代：会員＝4,000 円 一般＝5,000 円／懇親会費：3,000 円

参加申込：大会当日受付でお申し出ください／連絡先：090-1999-3315(当日のみ)

■■■■お知らせ■■■■

参加の際には予稿集の購入が必要となります。また、会員の方は会員証を必ずご持参ください。

## 【第1日】5月26日(土) B館・C館・S館(受付)

理事会・評議員会	C 館 C304 教室	9:30～10:30
通常総会	C 館 C304 教室	10:35～11:35
開会式	C 館 C201 教室	12:45～13:00
司会 砂川 裕一 (大会委員長)		
会長挨拶 尾崎 明人 (日本語教育学会会長)		
開催校挨拶 渡辺 利夫氏 (拓殖大学総長・学長)		
授賞式	C 館 C201 教室	13:00～13:20
記念パネルセッション	C 館 C201 教室	13:30～15:30
パネルセッション	C 館 C201・C301・C501 教室	13:30～18:00
懇親会	B 館 学生食堂	18:20～20:00

## 【日本語教育学会創立 50 周年記念パネルセッション】

### 《会場》C 館 2 階 C201 教室

13:30～15:30

「できる」ということはどういうことなのか？－他領域との協働による課題解決にむけて－

総合司会：門倉正美(横浜国立大学)

コーディネーター：伊藤健人(群馬県立女子大学)

パネリスト：西原陽子(立命館大学), 鈴木伸一(早稲田大学), 井頭昌彦(一橋大学)

ディスカッサント：宇佐美洋(国立国語研究所)

現在、日本語教育・学習の目標は、言語知識から課題遂行能力へ、すなわち日本語で何が「できる」かが重視されるようになりつつあります。それにともない、さまざまな場面で、Can-Do Statements による言語学習目標の設定と評価に注目が集まっています。そこで論じられている「できる」とは何でしょうか。「できる」ようになるためには何が必要なののでしょうか。日本語教育学会は創立 50 周年を迎えました。これまでの成果を活かしつつ、今後、日本語教育に関するさまざまな課題に取り組むにあたっては、他領域との協働がますます重要になります。本パネルセッションではその試みとして、「できる」について他領域の専門家とともに論じます。日本語教育とは異なる分野の専門家の視点を得て、私たち日本語教育関係者が、今後この問題を継続的にさらに深く考えていく契機としたいと思います。

## 【パネルセッション】

### 《会場》C 館 2 階 C201 教室

① 16:00～18:00 日本における外国人就労者受け入れに関する課題の再検討

－日本語教育の社会的役割とは－

神吉宇一((財)海外技術者研修協会),

布尾勝一郎((独)国際交流基金日本語国際センター),

平田好(カナダ・アルバータ州教育省)

**《会場》C館 3階 C301 教室**

- ② 16:00～18:00 **日本語教育研究の現状**  
 -学会誌『日本語教育』の分析から-  
 本田弘之(北陸先端科学技術大学院大学), 岩田一成(広島市立大学),  
 義永美央子(大阪大学), 渡部倫子(広島大学)

**《会場》C館 5階 C501 教室**

- ③ 13:30～15:30 **移住者と受け入れ社会の共通言語と日本語教育**  
 松岡洋子(岩手大学), 西山教行(京都大学), 土屋千尋(帝京大学),  
 足立祐子(新潟大学)
- ④ 16:00～18:00 **「社会型日本語教育」を担える人材とは**  
 -教師教育の視点から-  
 品田潤子((公社)国際日本語普及協会), 池上摩希子(早稲田大学大学院),  
 中河和子(トヤマ・ヤボニカ), 嶋田和子((社)アクラス日本語教育研究所)

**【第2日】5月27日(日) C館・S館(受付)**

口頭発表	C館 C403・C404・C405・C406 教室	10:00～15:10
ポスター発表	C館 C506・C508 教室	9:30～14:30
デモンストレーション	C館 C507 教室	9:30～14:30

**【口頭発表】****《第1会場》C館 4階 C403 教室**

- ① 10:00～10:30 **ポストメソッド時代の日本語教育における「日本」と「海外」のあり方再考**  
 -香港の事例研究-  
 瀬尾匡輝(香港理工大学), 米本和弘(マギル大学大学院生),  
 青山玲二郎(香港城市大学専上学院)
- ② 10:35～11:05 **日本の大学で学ぶ中国人日本語学習者の動機づけと自律性**  
 -自己決定理論の視点による探索的研究-  
 千葉朋美(大阪大学大学院生)
- ③ 11:10～11:40 **社会参加につながる移住女性の「声」を発信するための実践的研究**  
 八木真奈美(早稲田大学)
- ④ 11:45～12:15 **日本語教育における実践研究の記述の問題**  
 古屋憲章(早稲田大学), 三代純平(徳山大学), 古賀和恵(早稲田大学),  
 武一美(同), 寅丸真澄(早稲田大学大学院生), 長嶺倫子(早稲田大学),  
 市嶋典子(秋田大学)
- ⑤ 13:30～14:00 **ブレインストーミングにおける協働ダイナミックス**  
 小山信子(テンプル大学ジャパンキャンパス)
- ⑥ 14:05～14:35 **発音学習における自己モニタリング力を自分のものにする(appropriation)**  
**過程**-ピア・モニタリング活動への参加の仕方の変化から-  
 房賢嬉(お茶の水女子大学大学院)
- ⑦ 14:40～15:10 **専門日本語教育にピア・ラーニングを用いた場合の教師の役割とは**  
 -仮説型アクション・リサーチによる四年間の実践研究の分析を通して-  
 神村初美(首都大学東京大学院生)

**《第2会場》C館 4階 C404 教室**

- ⑧ 10:00～10:30 **日本統治下台湾の「国語講習所」の講師**  
-公学校『職員履歴書』を中心に-  
藤森智子(田園調布学園大学)
- ⑨ 10:35～11:05 **JSL バンドスケールを用いた日本語能力把握によって教育支援システムはどのように展開したか**-鈴鹿市における JSL 児童生徒に対する教育実践を通して-  
川上郁雄(早稲田大学大学院), 池上摩希子(同), 宮崎里司(同)
- ⑩ 11:10～11:40 **ビジネス日本語 Can-do statements の開発に向けた基礎研究**  
-BJT ビジネス日本語能力テストに基づくビジネス日本語の評価システムの構築-  
葦原恭子(琉球大学), 小野塚若菜(東京富士大学)
- ⑪ 11:45～12:15 **日本語学習者が目指すべき語彙力とは**  
-2 種類の語彙テストにおける学習者と母語話者の比較から-  
堀場裕紀江(神田外語大学), 西菜穂子(同), 松本順子(桜美林大学),  
李榮(神田外語大学), 山方純子(同)
- ⑫ 13:30～14:00 **ノートテイキングからみる講義の理解過程**  
-講義理解のための授業の枠組み形成を目的として-  
岩下智彦(桜美林大学大学院修了生)
- ⑬ 14:05～14:35 **上級日本語学習者の読み誤り**  
-学習者は学術論文をどこで読み誤るか-  
藤井明子(NIPPON 語学院), 花田敦子(久留米大学),  
藤原未雪((公社)国際日本語普及協会), 野田尚史(国立国語研究所)
- ⑭ 14:40～15:10 **学習リソースとしての映像作品に対する学習者と教師の視点のずれ**  
谷口美穂(桜美林大学大学院修了生)

**《第3会場》C館 4階 C405 教室**

- ⑮ 10:00～10:30 **個人的な日記の中での、「私」に関わる意識と言語選択**  
山本冴里(早稲田大学大学院生)
- ⑯ 10:35～11:05 **初期指導から教科学習への橋渡し**  
-二言語併用リライト教材を取り入れた日本語支援-  
平田昌子(桜美林大学大学院生)
- ⑰ 11:10～11:40 **接触場面における使用言語の違いから見る日本語母語話者の問題意識**  
-共通点と相違点から教育内容としての汎用性をさぐる-  
栗飯原志宜(香港大学專業進修学院)
- ⑱ 11:45～12:15 **初対面二者間会話におけるスピーチレベルシフトの指標的意味**  
篠崎佳恵(桜美林大学大学院生)
- ⑲ 13:30～14:00 **「誘い」談話における中日対照研究**  
-終結部に着目して-  
黄明淑(お茶の水女子大学大学院生)
- ⑳ 14:05～14:35 **ウズベキスタンの日本語学習者が論証文において用いる説得のアピールの特徴** -日本人大学生とウズベキスタン大学生との比較から-  
近藤行人(名古屋大学大学院生)
- ㉑ 14:40～15:10 **「通用しない」という経験を通して見る言語習得上の困難**  
-ジャンル, 活動領域間の移動という視点から-  
大平幸(大田大学校)

《第4会場》C館 4階 C406教室

- ② 10:00～10:30 **介護演習で使用された日本語の特徴の分析**  
-「介護技術講習会」におけるEPA介護福祉士候補者の談話データをもとに-  
小原寿美(ヒューマンアカデミー), 大場美和子(広島女学院大学)
- ③ 10:35～11:05 **仕事に必要なコミュニケーションとは**  
-EPA外国人看護師候補生の実際の就業場面における言語行動の分析から-  
嶋ちはる(ウィスコンシン大学マディソン校大学院生)
- ④ 11:10～11:40 **EPA介護福祉士候補者への学習支援と支援体制**  
-今後の連携・ネットワーク作りを目指して-  
三橋麻子(明海大学), 丸山真貴子(明海大学)
- ⑤ 11:45～12:15 **EPA看護師の国家試験合格後の課題**  
-国家試験後の日本語支援者の役割とは-  
岡田朋美(友志会花の舎病院), 宮崎里司(早稲田大学大学院)
- ⑥ 13:30～14:00 **認知言語学に基づく日本語の自動詞・他動詞の使い分け**  
-「図・地の分化と反転」の観点からの再検討と日本語教育への応用-  
邱林燕(北海道大学大学院生)
- ⑦ 14:05～14:35 **作文課題による並列表現の習得研究**  
-「も」と「とか」を中心に-  
中俣尚己(実践女子大学)
- ⑧ 14:40～15:10 **中国語を母語とする日本語学習者のメタフォリカル・コンピテンスの発達に関する考察**  
鐘勇(九州大学大学院生)

【ポスター発表】

《第1会場》C館 5階 C506教室 ●9:30～11:30 ○12:30～14:30

- ① **学部留学生に対する日本史教育の問題点と歴史リテラシーについて**  
-中国人日本語学習者と韓国人日本語学習者のアンケート調査を通じて-  
浅井尚子(拓殖大学), 長谷川由香(同)
- ② **日本語能力試験点字冊子試験実施の現状**  
-受験環境整備に関する一考察-  
秋元美晴(恵泉女学園大学), 河住有希子((公財)日本国際教育支援協会), 藤田恵(同)
- ③ **私費留学生にとっての日本留学と仕事観**  
-時間的展望からの検討-  
茂住和世(東京情報大学)
- ④ **自治体等の職員らを対象とした地域日本語教育コーディネーター養成の意義**  
-「日本語ボランティア研修」企画運営力養成講座を事例として-  
米勢治子(愛知県立大学)
- ⑤ **外国人介護従事者に向けた日本語支援**  
-介護業界と地域のために-  
中野玲子(墨田日本語教育支援の会)
- ⑥ **生活者としての外国人市民のための「日本社会および日本語読み書き」講座**  
-日本語ボランティアとともに学ぶ新たなボランティア研修の一形態-  
大越貴子(拓殖大学)

《第2会場》C館 5階 C508教室 ●9:30~11:30 ○12:30~14:30

- ⑦ **モンゴル語母語話者と中国語母語話者における日本語促音の知覚に関する研究**  
-後続子音/k/を中心に-  
劉永亮(首都大学東京大学院生)
- ⑧ **日本語における談話標識について**  
-「あの」「その」「この」「ええと」「なんか」「まあ」-  
LUKAMTO Yuliana Rejeki (大阪大学大学院生)
- ⑨ **中国語を母語とする日本語学習者における中日同形異義語の意味アクセス**  
-文呈示条件による検討-  
当銘盛之(広島大学大学院生)
- ⑩ **日本語学習者の作文過程の発達**  
-母語使用の観点から-  
石毛順子(国際教養大学)
- ⑪ **JSL の子どもの教科の学びを支える《日常語彙》**  
西川朋美(お茶の水女子大学), 樋口万喜子(横浜国立大学), 細野尚子(鎌倉市立御成小学校)

【デモンストレーション】

《会場》C館 5階 C507教室 ●9:30~11:30 ○12:30~14:30

- ① **言語処理の技術を利用したタグ付き日本語学習者コーパスの構築**  
李在鎬(筑波大学), 林炫情(山口県立大学), 宮岡弥生(広島経済大学),  
柴崎秀子(長岡技術科学大学)
- ② **web による日本語の基本語彙学習コンテンツの開発**  
増田真理子(東京大学), 前原かおる(同), 菊地康人(同), 向井留実子(同), 河内彩香(同)
- ③ **介護福祉士国家試験向け漢字学習ウェブサイト「介護の漢字サポーター」**  
中川健司(常盤大学), 角南北斗(フリーランス), 齊藤真美(関西国際大学),  
布尾勝一郎((独)国際交流基金日本語国際センター)
- ④ **日本語プレースメントシステム**  
-使用済のテストを再利用したプレースメントテストシステム-  
秋山實(東北大学大学院生)

## 拓殖大学 文京キャンパス案内図



※C館の主な入口は「2階」になりますが、同じレベルの階がB館では「1階」となっています。学生食堂のあるB館「地下1階」は、C館「1階」と、連絡通路でつながっています。

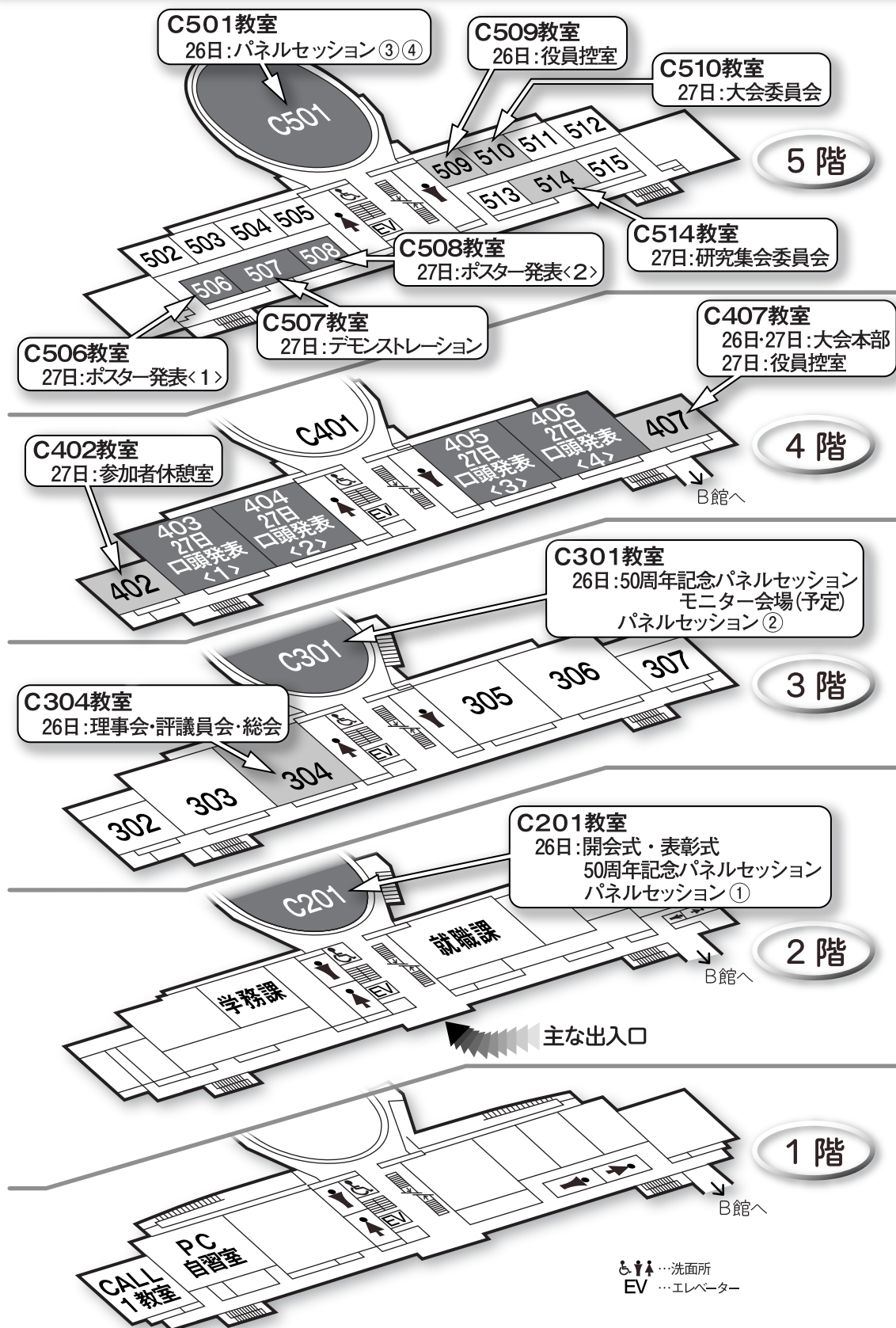
## キャンパス周辺図



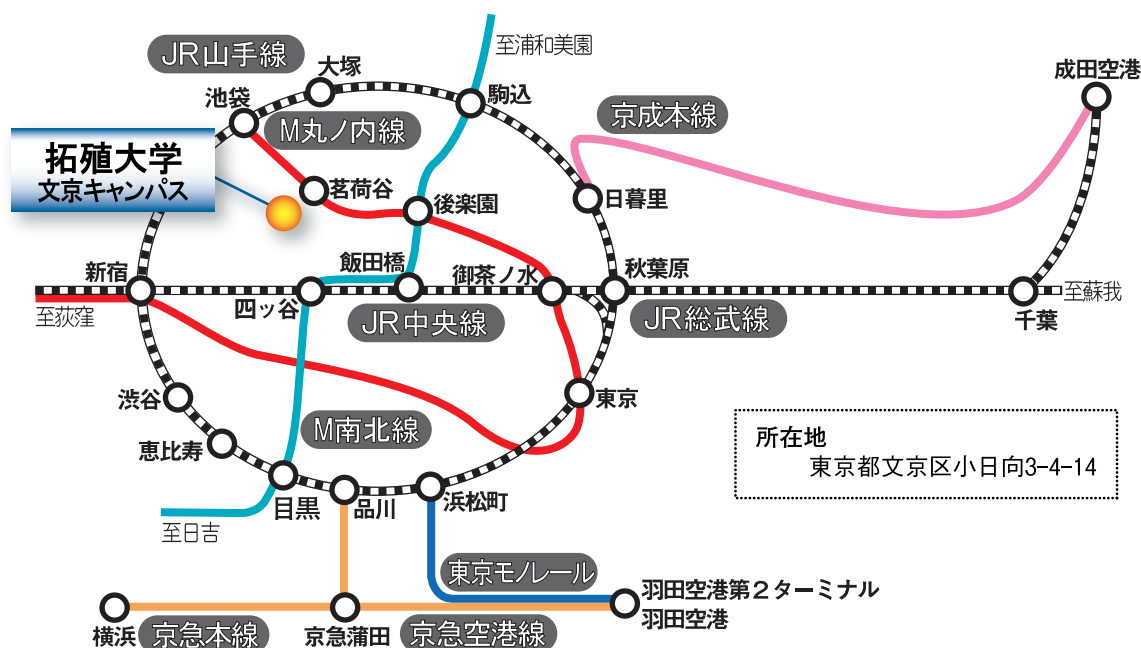
※茗荷谷駅を利用される場合、出口2から地上に出ると、一番わかりやすいです。

※27日は、構内に営業している食堂等がありません。周辺の飲食店をご利用いただくか、各自ご用意のうえご持参願います。参加者休憩室・口頭発表会場での飲食が可能です。

# 会場平面図 — C館



## 会場への交通案内——拓殖大学文京キャンパス



### ◆最寄駅

◇地下鉄東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅（出口2方面より徒歩3分）

### ●成田空港からの経路

- 成田空港《京成スカイライナー＝40～56分》→日暮里《J R 山手線内回り＝12分》  
→池袋《東京メトロ丸ノ内線＝5分》→茗荷谷駅
- 成田空港《J R 成田エクスプレス＝1時間34分》→池袋《東京メトロ丸ノ内線＝5分》→茗荷谷駅

### ●羽田空港（東京国際空港）からの経路

- 東京国際空港／羽田空港第1ビル《東京モノレール＝18分》  
→浜松町《J R 山手線内回り＝6分》→東京《東京メトロ丸ノ内線＝12分》  
→茗荷谷駅

◎所要時間は、おおよその目安として記載してあります。

### ■タクシー会社

東京都個人タクシー協同組合 03-3383-3111

東京無線協同組合 03-3330-2111

※行先は「拓殖大学文京キャンパス正門」を指定してください。

◎自家用車でのご来場はご遠慮ください。